

令和4年度第1回 山形市男女共同参画センター運営委員会会議録

日 時 令和4年5月27日（金）

10時30分～

場 所 山形市男女共同参画センター5階

視聴覚室・研修室2

I 出席者

【委員】 阿部由希委員 五十嵐健裕委員 石田一馬委員
岡田美由紀委員 奥野千秋委員 佐藤慎也委員
神保由美委員 中村広志委員 廣谷小夜子委員
山川唯美委員 横尾峰子委員 (計11名)

【事務局】 高橋男女共同参画センター所長
古内男女共同参画センター副所長
五十嵐男女共同参画センター主幹（事業企画担当）
庄司男女共同参画センター主査

【書記】 佐藤男女共同参画センター運営事務員
笹原男女共同参画センター運営事務員

II 傍聴者 0名

III 会議

- 1 開 会 古内副所長
- 2 委嘱状交付
- 3 委員自己紹介・職員紹介
- 4 正・副委員長の選任 委員長 佐藤委員、副委員長 横尾委員を選出
- 5 正・副委員長のあいさつ 佐藤委員長、横尾副委員長よりあいさつ
- 6 議事
 - (1) 報告
 - ① 令和3年度事業報告について（別冊「年報ファーラ」） 事務局
 - (2) 協議
 - ① 令和4年度事業計画について 事務局
 - ② 令和4年度市民企画講座について 事務局
- 7 その他
- 8 閉 会 古内副所長

【審議経過】

(1) 報告

①令和3年度事業報告について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】

- 委員 14ページの図書の廃棄本250冊について、市立図書館は1年に1回廃棄本をリサイクル本として市民の方に自由に持って行ってもらったりしているようですが、ファールではそのようなことはやっていないのですか。
- 事務局 令和2年度、新型コロナウイルス流行時に大規模な図書の整理を行い、その際の廃棄本は利用者の方に、リサイクル本として自由にお持ち帰りいただきました。令和3年度の廃棄本250冊につきましては、各市町村、都道府県の男女共同参画センターなどから送付されてきた情報紙、冊子だったため廃棄させていただきましたが、利用者の方にお配りできるようなものであれば、今後、リサイクル本としてお配りしたいと思っております。
- 委員長 令和2年度、3年度的全館利用者数はかなり減少しましたが、もう一方で相談件数は令和2年度は増加、3年度もある程度の件数となっておりますが、相談件数については、どのような影響と考えますか。
- 事務局 相談件数については、コロナ禍で一時期対面での相談は行いませんでしたが、電話での相談で継続し、現在は、対面、電話いずれでも相談を受け付けておりますので大きな増減はない状況となっております。
傾向としては、長時間自分だけで抱えていた悩みなどをお話くださるような相談が多かったようです。

(2) 協議

①令和4年度事業計画について、事務局より資料に基づき説明があった。

【質疑応答】

- 委員 小中学校向け出前講座は小学校5校の開催となっているが、中学校からの希望はなかったのですか。
- 事務局 中学校からの希望が1校ありました。また、小学校からの希望は11校あり、過去の実績を考慮し5校に決定しました。
- 委員長 この出前講座に関して、コロナ前から重点的に取り組んでいただいているが、多くの学校から希望が出される中、来年度以降開催校を増やすような議論はできますか。
- 事務局 学校をはじめ、いのちの学習の必要性をととても感じていることを認識しており、来年の予算要求で枠を増やす方向で検討したいと思っております。
- 委員 学校の立場からいうと、いのちの学習、性教育はとても大事な学習で、毎年学校でも計画を立てています。希望しても開催できない場合は、その時点から学校独自で講師を探さなくてはいけないことになるので、「頼みにくい」という気持ちもあります。
毎年お願いできないという点で、11校以外の学校がいのちの学習を行っていない訳ではなく、学校独自で講師に依頼をして行っております。
全小中学校に対して行うことは到底無理だと思うので、当選したところだけとな

るのはしようがないことだと思いますが、学校の方では、そのような事情だということですが。

事務局 男女共同参画センターの予算で実施するのが5校ですが、他に、学校、校長先生の裁量で学校配当予算を使って実施するなど、さまざまな機会があるようです。

委員長 市の政策にも関係してくると思われませんが、フェアが重点目標を立ててやっていくのか、または教育委員会がやっていくのかなど、今後の方向性を検討していくことが非常に大切なのではと思います。

事務局 山形県男女共同参画センター「チェリア」にも講師派遣制度があり、男女共同参画推進員の登録メンバーが行っております。講師を限定する場合は難しいですが、テーマが合えば山形県の事業費負担で登録メンバーの派遣が可能なので、授業計画を立てる上でも確認していただければと思います。

委員長 「いのちの学習」をやっていただくことが一番大切だと思いますので、教育関係の先生方がやりやすい環境を作って、提供できるよう検討していただければと思います。

②令和4年度市民企画講座について、事務局より資料に基づき説明があった。また、応募があった2団体については、現在選考委員の方々から選考していただいていること、及び、今年度は追加募集を行い、追加で応募があった作品が市民企画講座の経験がある団体からの応募であり、かつ、内容が市民企画講座の趣旨に合っている場合は所長、副所長が選考を行う旨説明があった。

【質疑応答】

委員 市民企画講座の条件について、登録団体のみの開催となるのでしょうか。

事務局 登録団体以外でも、資料4ページの③応募資格を満たしていれば応募可能となります。

以上の審議の後、「①令和4年度事業計画について」及び「②令和4年度市民企画講座について」は事務局提案のとおり承認された。

5 その他

委員 イグメン共和国以外に、別のNPOにも携わっていますが、そのNPOで昨年山形県の委託事業として「男性育休のススメ」というデジタルリーフレットの執筆を行いました。
4月に男性育休を目的とした改正育休法が施行され、10月から産後育休、パパ育休が8週間以内にとれるようになったり、来年4月からは1,000人以上の大企業は公表義務ありなど、色々と世の中も変わりつつあるので、そういった制度も含め、県内で先駆けて取得している企業へのインタビュー、また、取得の後押しになりそうな中身も盛り込んだつもりなので、「山形県男性育休」で検索していただき、ご一読いただければと思います。
また、チェリアで現在河北町にプチ移住している安藤哲也さんを講師に迎え、パパのトークセミナーのようなものを予定しておりますので、興味があれば「やまがたイグメン共和国」で検索していただければと思います。

委員 イグメン共和国に講座講師をお願いすることは可能なのでしょうか。

委員 ハードルの低い内容なら大丈夫だと思います。

内容にもよりますが、その場合は自分に対応することになるかと思います。

委員 ありがとうございます。

6 閉会